

## 歴博 暮らしの植物苑だより

第95回『暮らしの植物苑観察会』 1月27日(土) 13:30~ 暮らしの植物苑  
「水田と焼畑」 西谷 大 (本館研究部考古研究系)

第12回『日本の植物文化を語る』 2月24日(土) 13:30~ 本館講堂  
「古代植物文化史一心と体を支える植物たち」 辻誠一郎 (東京大学)

今週の見どころ 毎週更新 <http://www.rekihaku.ac.jp>

冬の華・サザンカ図録 本館ミュージアムショップにて好評発売中

### 冬の華・サザンカ まだ御覧になれます

年がかわり、ハルサザンカが見ごろをむかえてきました。苑内に地植えしているヤブツバキ・ツバキとで4月くらいまで花を楽しむことができます。

ハルサザンカは、サザンカとツバキの園芸品種の自然交雑によりできたといわれています。サザンカは種子(実生)では維持できません。展示のなかで、実生栽培したものを横に並べて展示しています。比較してみてください。

ハルサザンカ群



絞笑顔



春麗



六歌仙



舟木紅

園芸品種



有楽



シロバナヤブツバキ

ツバキ一口メモ：ツバキは春を告げる花として、また聖なる木として色々なところで使われています。奈良東大寺のお水取りのときは、ツバキの造花を作ります。ツバキを神木とする神社は多く、ツバキの槌や杖を呪具とし用いたといわれます。それとは反対にツバキを人影花としてみるところもあり、屋敷に植えないところも多です。

サザンカの観賞法：サザンカの花びらが緑のコケの上に、また白い砂の上にはらはらと散っている状態を眺めるのも観賞法の1つです。

#### ヤブコウジ (ヤブコウジ科ヤブコウジ属)

竹やぶや林床に生える常緑矮小低木で、冬に赤い実をつけ、お正月の飾りものに使われています。他にヤブコウジ属にはマンリョウ・カラタチバナなど冬の観賞植物があります。和名のマンリョウと対応させてつけられたセンリョウはセンリョウ科センリョウ属です。



#### ハラン (ユリ科ハラン属)

太い根茎を持つ常緑の多年草で、葉が美しいので庭園に植栽し、生け花や料理の添え物に利用されています。斑や線の変わりなど、葉の美しさからおおくの園芸品種があります。写真は根元に咲いた花です。



#### ソシンロウバイ (ロウバイ科ロウバイ属)

春先、葉より先に、蜜蝋に似た黄色の花が咲きます。ロウバイは内花被片が暗紫色で、内花被片が黄色のものをソシンロウバイといいます。また花の径が3cmを超えるトウロウバイの品種などがあります。中国では花を乾燥し、お茶にしたものを蠟梅花といいます。

